

令和7年度職員提案個別票（受付番号：令和7-16）

第1号様式(第3条関係)

職員提案票

提案番号 R7-16

提案件名	伊勢原市デジタルPR大使！「クルリンVチューバー化」で広がる市民との絆と情報発信	
現状及び課題	課 題	具体的な内容
	情報発信の限界	主な活動はイベント出演や広報紙への掲載で、若年層や市外へのリーチが難しい。
	リアルタイム性の欠如	災害時などの緊急情報や、最新の市政情報を迅速に発信することが困難
	双方向性の不足	市民との直接的な対話機会が少なく、市政への関心や参加意識の向上に繋がりにくい。
	他自治体との差別化の必要性	多くの自治体がキャラクターを活用する中、新たなアプローチで独自性を出す必要がある。
	イベントコスト・労力	着ぐるみでのイベント出演はコストと人員が必要で、継続的なPR活動に制約がある。
提案内容	マスコットキャラクター「クルリン」をVチューバー(バーチャルユーチューバー)化し、デジタルを活用した新たな広報戦略を展開します。 詳細については、別紙のとおり	
予想される効果	クルリンのVチューバー化は、単なるキャラクター活用を超えた伊勢原市の未来への投資です。 詳細については別紙のとおり。	

提案種類	☒ 事業提案 ☐ 事務改善	プレゼン希望	☐ 希望する ☒ 希望しない
所管課との調整	☐ 希望する ☒ 希望しない	添付資料	☒ あり ☐ なし

表彰基準	所見
努力賞	将来的検討

令和7年度職員提案個別票（受付番号：令和7－26）

第1号様式(第3条関係)

職員提案票

提案番号 R7－26

提案件名	投票立会人（当日投票・期日前投票）の登録者制度の導入について
現状及び課題	現状、過去に立会人を引き受けてくれた方へ再依頼を行い、なんとか協力してもらっているが、長年立会人を引き受けてくれていた方から「体調面の不安がある」として辞退されたケースが生じたこともあり、立会人選任の事務が生じるたびに不安材料となっている。 また、関係機関や団体に協力を依頼し、人員を確保するケースもあるが、これはあくまで「付き合い」によるものであり、立会人本来の役割である「選挙の公正な執行の監視」が希薄化する可能性が懸念される。さらに、特定の団体に負担が集中するなどの問題も生じかねない。
提案内容	今後執行する選挙に備えて、投票立会人として従事する意欲のある市民に事前に募集を行い、選挙の際に登録者の中から立会人を選任する仕組みを導入する。（厚木市で実施済）
予想される効果	事前に協力意思のある市民を把握することで、選挙ごとの選任作業の負担が軽減されるほか、辞退者が出た場合でも、登録者の中から迅速に代替者を選任することが可能となる。 また、「付き合い」で引き受けるのではなく、「選挙に貢献したい」という意欲を持つ市民を立会人として選任できるようになり、より質の高い立会業務が期待できる。 さらに、選挙の度に特定の団体に協力を依頼する負担を軽減し、公平な協力体制を構築できる。

提案種類	☐ 事業提案 ☒ 事務改善	プレゼン希望	☐ 希望する ☒ 希望しない
所管課との調整	☐ 希望する ☒ 希望しない	添付資料	☐ あり ☒ なし

表彰基準	所見
努力賞	実施すべき

令和7年度職員提案個別票（受付番号：令和7-27）

第1号様式(第3条関係)

提案件名	長期休暇職員発生部署の職員に対する特別手当支給について		
現状及び課題	本市職員のワークライフバランス推進、並びに多様な働き方を支援する観点から、育児休業、産前産後休暇、疾病等による療養休暇等の制度を多くの職員が活用している。これは組織として重要な取り組みであり、今後も推進していくべきものであると認識はしている。しかし、長期休暇職員の担当業務は、代替要員の確保が困難な場合や、短期間での処理が求められる業務、あるいは専門的知識や経験を要する業務において、残された課員が引き継がざるを得ない状況にある。 また、育児休業代替職員の配置や部内応援体制といった既存の代替措置は、一定の効果を発揮しているものの、これらは必ずしも全てのケースに対応できるものではない。特に、部署特有の専門性や複雑な業務においては、代替職員が即戦力となることは難しく、教育・指導に時間を要する結果、かえって既存職員の負担を増大させることもある。 さらに、突発的な休暇においては、代替要員の確保自体がされないことも少なくない。休暇取得による業務負担が一部の職員に集中することで、「なぜ自分だけがこのような状況に置かれるのか」といった不公平感や、職務に対するモチベーションの低下、ひいては早期退職への意識変化に繋がりがかねない深刻な問題と考える。		
提案内容	長期休暇職員の業務を分担し、円滑な業務遂行に貢献した職員の労苦に報い、精神的・物理的負担に対する慰労として、対象職員に特別手当を支給する制度の導入		
予想される効果	業務負担増に対する金銭的な評価は、職員が「組織から労苦を理解されている」と感じることに繋がり、精神的な負担の軽減とモチベーションの向上に寄与する。 また、「長期休暇取得者とその業務をカバーする職員との間」、あるいは「長期休暇取得者がいる部署の職員といない部署の職員との間」に生じる不公平感を緩和し、組織内における公平感の醸成に繋がる。 さらに、業務負担増への対応が金銭的に評価されることで、自身の業務や与えられた状況が正當に評価され、負担が看過されない組織であると認識することで、長期的な人材定着にも寄与する可能性がある。これにより、市民サービス提供の質を維持・向上が期待される。		
提案種類	☒ 事業提案 ☐ 事務改善	プレゼン希望	☐ 希望する ☒ 希望しない
所管課との調整	☐ 希望する ☒ 希望しない	添付資料	☐ あり ☒ なし

表彰基準	所見
努力賞	実施に向け更に要検討

令和 7 年度職員提案個別票（受付番号：令和 7－29）

第1号様式(第3条関係)

職員提案票

提案番号 R7－29

提案件名	令和元年度以降最多のふるさと納税受入額の獲得		
現状及び課題	実績報告なので省略		
提案内容	令和元年度以降、低迷傾向にあったふるさと納税について、現地決済型ふるさと納税の導入、新たなポータルサイトにおける寄附受入開始を行ったほか、返礼品提供事業者との関係構築による既存返礼品の見直し及び新規返礼品の開拓を進めた。 また、取組の成果を最大化するため、企画部内の応援態勢を構築し、積極的に制度周知やプロモーションを図った結果、令和 7 年度における市外在住者からのふるさと納税受入額は、令和元年度以降最多となった。 担当する職員が中核となって、企画部全体で一丸となって稼ぐための取組を進め、歳入確保を図った成功事例であることからほう賞を提案する。		
予想される効果	市外在住者からのふるさと納税受入額は、平成 29 年度の 1 億 7, 300 万円をピークとし、令和元年度は 5, 400 万円、令和 2 年度以降は毎年度 3 千万円から 4 千万円程度と低迷傾向にあった。 財政状況の改善を図るため、担当職員は稼ぐための取組を妥協なく進めた。また、組織として稼ぐ仕組みを構築するためのモデルケースとして、企画部全体で稼ぐ体制を構築した。 この結果、令和 8 年 1 月 5 日時点で市外在住者からのふるさと納税受入額は 8 千万円を突破した。 職員の努力が短期間で数字として成果に直結した点は、市の財政状況改善のみならず若手職員のモチベーション向上に寄与するものとする。 また、限られた人員での職務遂行が必要である中、課の垣根を越えて部全体で稼ぐ力を創出した取組は、他業務ないし全庁的にも波及させる効果があるとする。		

提案種類	☐ 事業提案 ☐ 事務改善	プレゼン希望	☐ 希望する ☐ 希望しない
所管課との調整	☐ 希望する ☐ 希望しない	添付資料	☐ あり ☐ なし

表彰基準	所見
努力賞	

令和7年度職員提案個別票（受付番号：令和7－30）

第1号様式(第3条関係)

職員提案票

提案番号 R7－30

提案件名	企業版ふるさと納税、過去最多の寄附件数及び寄附目標額の達成
現状及び課題	実績報告なので省略
提案内容	企業版ふるさと納税については、事務の一部を発想クルリン課へ移管し、企業への積極的な営業・関係構築、重要人物への接触、および関係部署との連携強化を図った。 特に、ある企業からの寄附獲得にあたっては、関連課全体の協力のもと、中心となる職員が主導し、企業へのコンタクトや役員への説明機会を粘り強く設定した。さらに、発想クルリン課の職員と同行し、企業版ふるさと納税のメリットを効果的に訴求した。 また、別の企業からの寄附獲得にあたっては、職務上関係が深い部署が同行訪問し、役員へ企業版ふるさと納税のメリットを訴求したほか、他部署が地区の開発に向けた情報提供の場を設けるなど、企業との関係強化を図る地道な努力を重ねた結果、寄附を獲得した。 この事例は、事務を所管する経営企画課や発想クルリン課だけでなく、企業との関係が深い各部署が一丸となって収益確保のための取り組みを進め、歳入確保に成功した好例であるため、ほう賞を提案する。
予想される効果	令和7年度の企業版ふるさと納税に係る物納を除く金銭の寄附件数は17件となり、過去最多となった。また寄附額も予算額である1,100万円を上回り過去二番目の水準となった。 今回の寄附獲得は組織横断的に営業を進め、稼ぐ力を創出した成功事例であり、来年度以降も取組を加速することで更なる寄附獲得ができることが期待される。 今回のような所属の垣根を越えて市全体で稼ぐ力を創出した取組は、他業務ないし全庁的にも波及させる効果があると考ええる。

提案種類	☐ 事業提案 ☐ 事務改善	プレゼン希望	☐ 希望する ☐ 希望しない
所管課との調整	☐ 希望する ☐ 希望しない	添付資料	☐ あり ☐ なし

表彰基準	所見
努力賞	